

患者さまへ
「当院における婦人科検体への液状化検体細胞診の導入とその有用性の検討」
への参加ご協力をお願い

はじめに

当院では 2024 年 10 月より婦人科検体の細胞診検査について Liquid-based cytology(LBC)法を導入しました。一般的に従来行っていた直接塗抹法より標本作製精度が良いとされており、当院でも同様の結果が得られるかどうかを評価したく計画しましたので、ご協力をお願いします。また、本研究の参加は任意であり、同意されなくても何も不利益はありません。参加の同意後、同意の撤回をしたい場合の申し出を受け付けます。

研究期間と予定人数

2023 年 10 月から 2025 年 6 月までに、子宮頸部、子宮体部の細胞診検査を実施された 3,796 名

研究対象

- 1) 婦人科を受診し、子宮頸部、子宮体部の細胞診検査をされた方
- 2) 当院健診において、子宮頸がん、子宮体がん検診を受けられた方

研究方法

採取された検体で作製された細胞診標本を鏡顕し、その細胞像の評価を行います。

予想される有害事象

この研究に参加することへの直接的な不利益はありません。既存の情報のみを用いて行いますので、特段の負担や侵襲性等が伴うことはありません。

患者様のプライバシー保護について

患者様の個人情報は匿名化し、個人の特定につながる可能性のあるデータは使用いたしません。

連絡先：0853-63-5111

出雲市立総合医療センター

研究責任者 臨床検査技師 原 理恵